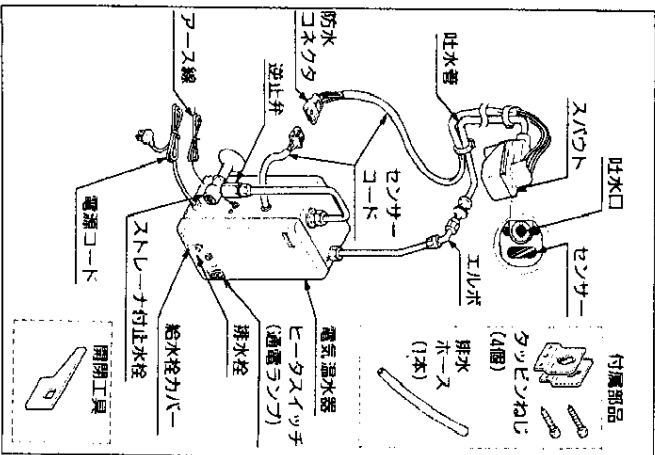


手洗器用自動水栓・電気温水

製品の機能が十分に発揮されるように、この取

仕様

TEL833BE
(電気温水器内蔵タイプ)

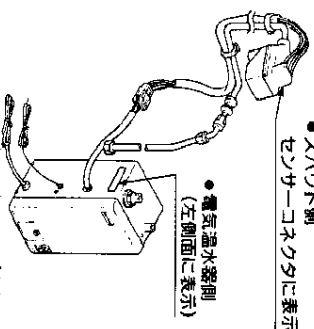


項目	内容
電源	AC100V 50/60Hz(共通)
消費電力	約50W
電源コード	1.1m
タンク容量	1.5L
沸上がり時間 (入水温約15℃~38℃)	約5分
製品寸法	150mm(幅)×150mm(奥行)×300mm(高さ)
給水方式	元止め式
沸上がり温度	約38℃
安全装置	温度過昇防止器・手動緊急式(メタリ)
給水圧力	最低必要水圧 0.05MPa(流動時) 最高水圧 0.75MPa

取り付け前に

1. 電気製品ですので、水がかかったり、表面に結露を生じるといった湿気の多い場所での使用は避けてください。故障の原因になりますので特に、浴室内では使用しないでください。
 2. 電気工事が必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。電源は交流100V(50/60Hz)、消費電力は約500Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
 3. プラスは、D種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
 4. 給水範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲で使用ください。
 5. 給水は、上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
 6. センサー一面は傷つけないよう十分ご注意ください。
 7. 光電センサーの感知距離は電気温水器部と一対で調節していますので、必ず付属のスパウトと電気温水器部を組合わせて使用ください。(製造番号が同一です)
- (注) スパウト部と電気温水器部の製造番号が同一であることを確認すること。

(製造番号表示箇所)



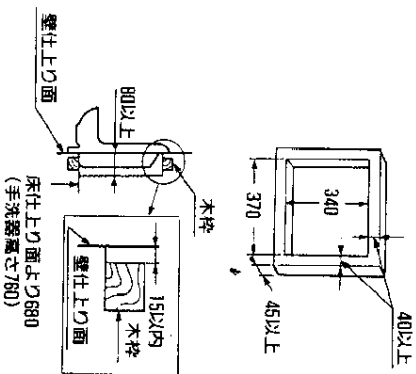
8. 陶器は、自動水栓専用陶器です。

自動水栓	陶器品番
TEL833BE	L833A

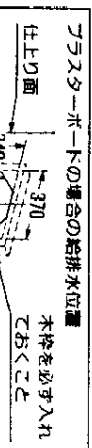
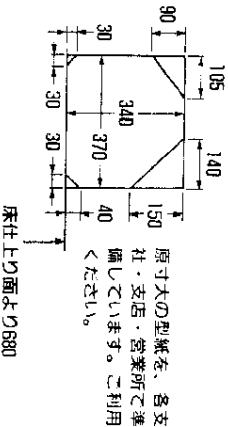
陶器品番がL833Dの末尾にAが付いていることを確認ください。

下準備

(例) 板工法 (プラスチックボード等)
壁仕上げ前に、木ねじ固定用の木枠を壁心材 (柱木) に固定しておいてください。

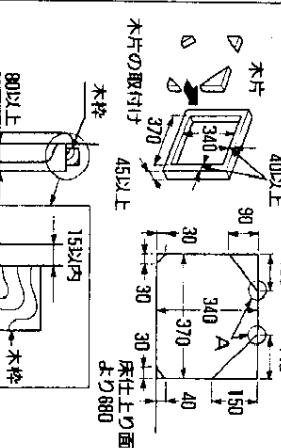


壁仕上げ後、木枠を埋込んだ位置を削り出し、下に示す寸法に壁を切り抜いてください。



(注) プラスチックの排水口位置は手洗器の排水口芯から向かって左に45±15です。(木枠の中心から85±15)

(例) 板工法 (プラスチック壁等)
壁仕上げ前に埋込む木枠は、あらかじめ下部のように四隅に木片を取付けてください。壁仕上げを行うのに必要です。

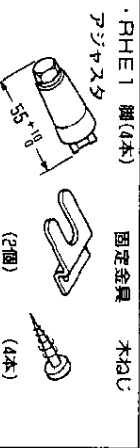


壁仕上げ後、木枠を埋込んだ位置を削り出し、下に示す寸法に壁を切り抜いてください。

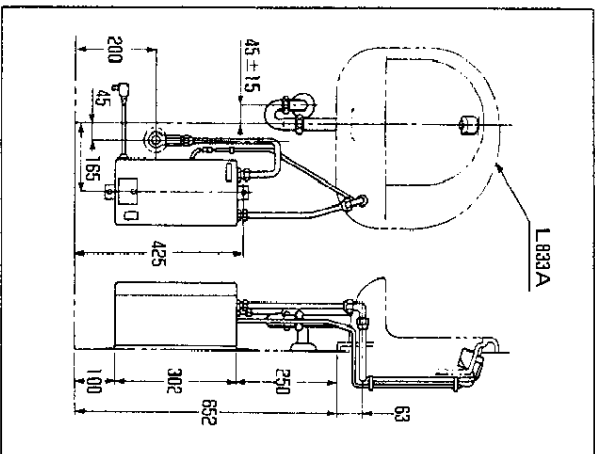
(注) 木枠及び木片は陶器でかきとせませんので必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。

(注) A部付近は、後で木ねじで手洗器を固定します。四隅の木片を釘で固定する場合はA部付近に釘がこえないようにご注意ください。

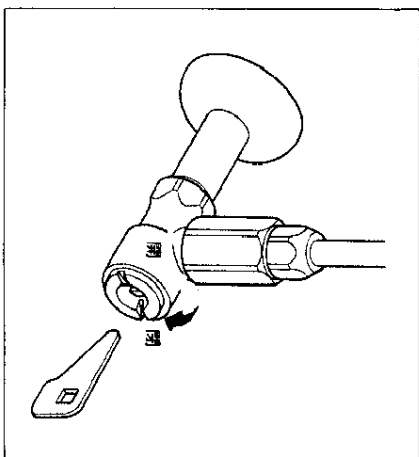
別売品



完成図



2. 吐水量の調節
吐水量が5L/min程度になるように付属の閉閉工具でストレーナ付止水栓を回して吐水量を調節してください。



(注)約200mlの容器(牛乳ビン等)が2~3秒でいっぱいになるのを目安にしてください。

試運転

タンクが空の状態にてヒータースイッチを「入」にすると、空だきとなり、漏水及び故障の原因になります。
以下の手順にしたがって試運転を行ってください。

1. 通水の確認
①ヒータースイッチが「切」であることを確認してください。
②電源プラグをAC100V(50/60Hz)のコンセントに確実に差込んでください。
③ストレーナ付止水栓を開いてください。
④(通水の確認)手を吐水口に近づけ光電センサーに感知させ、20秒程度お待ちください。
吐水口から水が出はじめるとタンクが満水になったことを示します。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は“ご愛用のしおり”をご確認ください。

工事店様へ

1. 施工が終わったら必ず各接続部から漏水の無いことを確認してください。
2. お客様に引き渡す前に凍結のおそれがあるときは、止水栓を閉め、電気温水器内の水抜きをしておいてください。
3. 特に次のことについては十分にご説明ください。
①タンク内が空のとき、絶対に通電しないこと。
②吐水口を絶対にふさがれないこと。
③沸上る途中では吐水口から湯が漏下しますが、これはタンク内の水が膨張するためで故障ではないこと。
④凍結予防のための使用方法。
⑤冬期使用時、最初に冷たい水が出る場合がありますが、これは配管内に残水があるためで故障ではないこと。

ストレーナの掃除

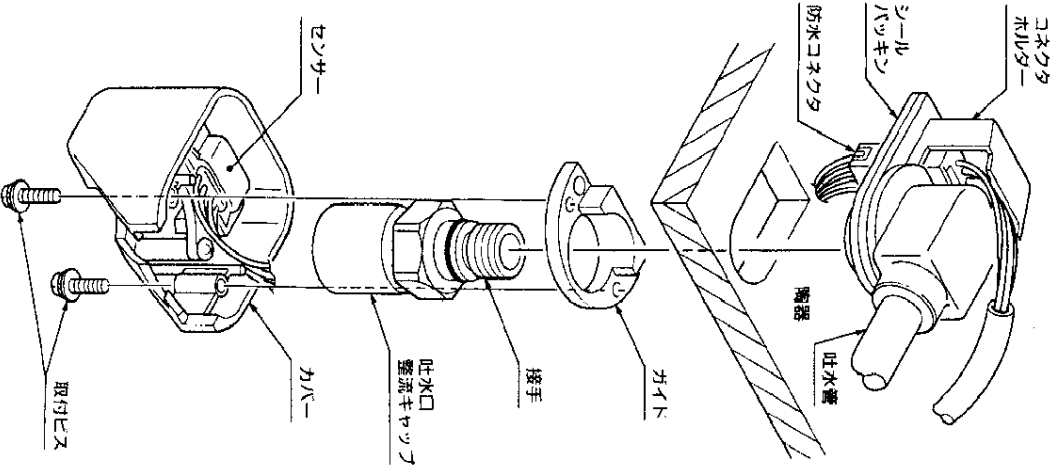
ストレーナがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなり、また、器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。
(注)ストレーナを取外す時は、付属の閉閉工具で止水栓を閉めた後、ストレーナふたを外してください。

水器内蔵タイプ・取付説明書

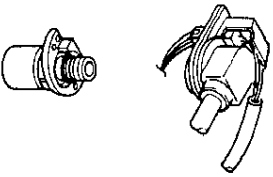
寸説明書の内容にそって正しく取付けてください。

器具の取付け (その1)

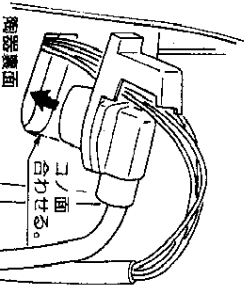
1. スパウト部取付け



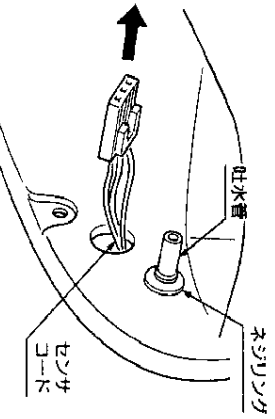
① ガイト及び接手を吐水管部より一度、取はずす。



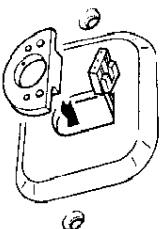
② コネクタホルターのシールをはがし、陶器に固定する。コネクタは、穴を通して、陶器表面へ出す。



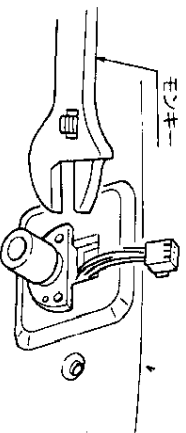
③ 陶器下部の大穴にコネクタを、小穴には吐水管を陶器裏面から表面へ出す。小穴の吐水管は、ネジリングにて、陶器をはさみ込み固定する。



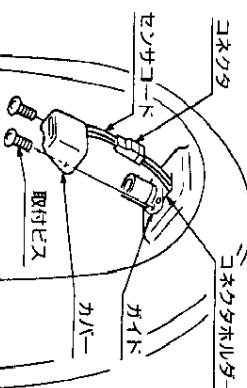
④ 陶器表面にガイトを図の向きにセットする。このときリード線かみ込みに注意。



⑤ 接手をねじ込みガイトを固定する。締付けは、リード線のかみ込みに注意しながらモンキー等で確実に行うこと。



⑥ コネクタを接続した後、コネクタホルター内にコネクタを納める。次に、カバーの凸部をガイトの凹に合わせる要領でガイトにカバーをビス取めする。この際、センサーコードのかみ込みに注意すること。コネクタ

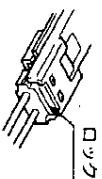


(注) コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで、差込んでください。

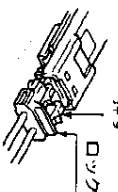
コネクタの抜き差し要領



● コネクタの接続は、ロックがかかるときのままに挿入してください。



● コネクタをはずすときはロックを押し下げて引抜きます。



(注) 吐水管は変形しないよう取扱いに注意してください。
(注) 吐水管の防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。

